

白内障

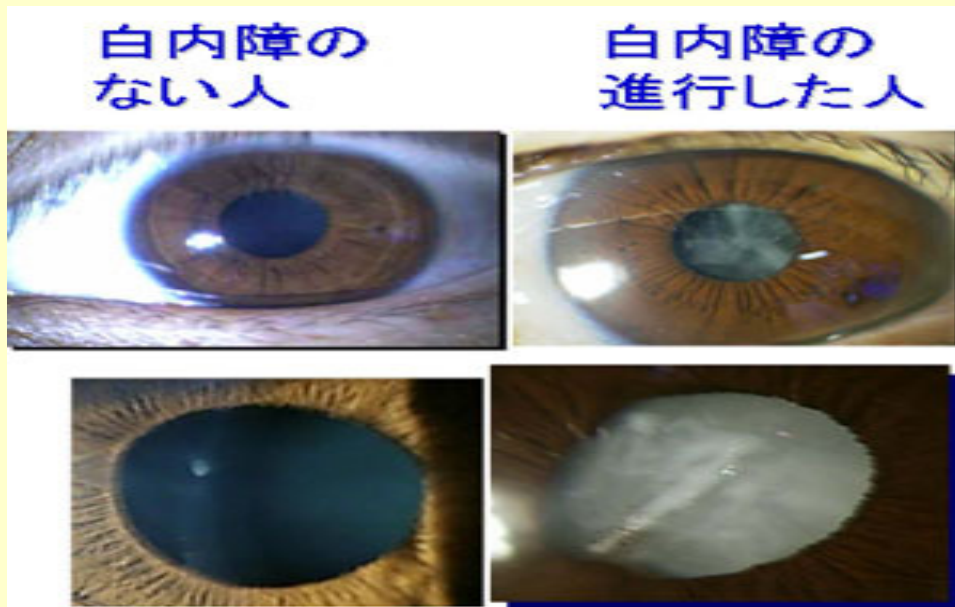


松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

<病気について>

作成：医事課

目の中の^{すいしょうたい}水晶体（レンズ）が^{にご}白く濁る病気が白内障です。
水晶体とは、^{えんきんちょうせつ}遠近調節を行なう^{とうめい}透明なレンズです。



<症状>

目の中のレンズが濁ることにより、視力が低下して以下のような症状がでます。

- ^{かす}霞んで見える
- 光を^{まぶ}眩しく感じる。
- どんなに^{ちょうせい}調整しても
^{めがね}眼鏡が合わない。
- ぼやけて二重・三重に見える。

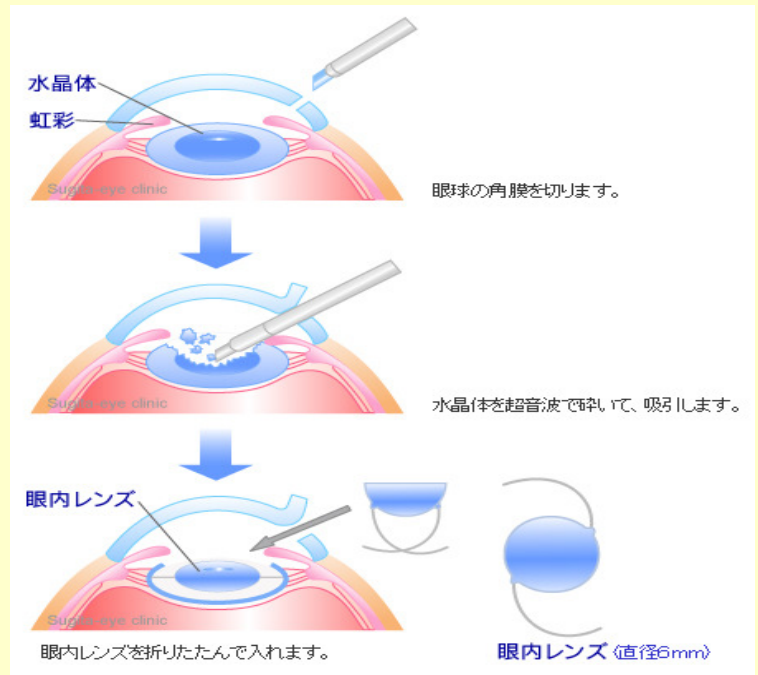


<治療>

白内障が軽度で、あまり視力に影響のない場合は^{てんがんやく}点眼薬や^{ないふくやく}内服薬による^{しんこうよぼう}進行予防を行います。

いったん白内障が進行して水晶体が^{こんだく}混濁すると薬などで元の透明性を回復することはできません。

したがって白内障が進行した場合は、水晶体の濁りを取り除き、人工の水晶体（眼内レンズ）を移植する手術を行います。



<入院費～概算～>

水晶体再建術（1泊2日）

（眼内レンズ料金も含まれています）

1割負担の場合	23,000円
2割負担の場合	44,400円（上限）
3割負担の場合	69,000円

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

- ・白内障手術年間症例数 308件
- ・白内障平均入院日数 2.5日

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、
医事課までお気軽にお尋ね下さい。